

事務事業名		佐野市暴力追放連合会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 安心して安全に暮らせるまちづくり					担当係	総務係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2 交通安全・防犯対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 防犯意識の高揚と防犯体制の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	12405	一般	10	1	2	佐野市暴力追放連合会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H5年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市暴力追放連合会に会員として負担金を支出している。また、総会や佐野市安心のまちづくり推進市民大会に参加している。			(市の活動) 佐野市暴力追放連合会に負担金を支出、総会等に出席。							
※佐野市暴力追放連合会とは、警察をはじめとする市内関係機関、各種団体や住民により、暴力のない明るく住みよいまちづくりを推進するために設立された団体である。			(佐野市暴力追放連合会の活動) 総会や佐野市安心のまちづくり推進市民大会の開催。(佐野市暴力追放連合会の活動)各団体や会合において暴力排除講話の実施、関係団体との連携した運動の展開。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議出席回数	回	1	1	2	2	2	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
佐野市暴力追放連合会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会員団体数	団体	30	30	30	30	30	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
① 暴力追放についての意識の高揚や情報を得る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
② 各種関係団体との連携を図ることにより情報の共有化を図る。			対前年度会員団体数	%	96.8	100.0	100.0	100.0	100.0	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
関連団体、関連機関と十分に連携が取られている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			自主防犯組織数	団体	125	126	154	156	158	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	10	10	10	10	10			
	事業費計(A)	千円	10	10	10	10	10			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			19.負担金	10	19.負担金	10	19.負担金	10	19.負担金	10
	人件費	人	1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	10	10	10	10	10				
人件費計(B)	千円	39	39	39	39	39				
トータルコスト(A)+(B)	千円	49	49	49	49	49				

事務事業名	佐野市暴力追放連合会参画事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	総務係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成5年に、安佐地区暴力追放連合会が旧佐野市、田沼町、葛生町その他関係機関団体により組織された。現在、市内32団体の会員を擁し、佐野市長が会長を務める。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	安心・安全のまちづくりの推進が求められている中、地域ぐるみ、町ぐるみの暴力追放機運が高まってきている。平成23年6月、佐野市暴力団排除条例が施行された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	暴力のない安心・安全なまちづくりを進めることは、行政の役割である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	このような啓発や運動の推進は公共が率先して関与することにより、民間団体や市民の活動の活性化につながる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	団体・個人間との連携や情報の共有化は必要不可欠であるため。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	暴力追放に関し、学校の子どもたちを取り巻く環境にも大きな問題もなく推移している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	団体への負担金のみであり、独自に決められないため。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	参画事業であるため、受益者負担金はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
暴力団や暴力をふるう人のいない世の中となれば本事業の必要性はなくなる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			